

シンポジウム

聖徳太子像を問い直す ——研究の課題と展望——

日時：2026年3月7日（土）14:00-17:30

会場：國學院大學渋谷キャンパス5号館3階5302教室（ハイブリッド開催）

14:10-15:20 基調講演

「〈人間聖徳太子〉探求の可能性」

石井公成（駒澤大学名誉教授）



15:45-17:30 パネルセッション

「近世宗教史研究と曾根原理——聖徳太子像とその彼方」

岸本覚（鳥取大学）

「曾根原理氏の東照宮研究の一端に参加して」

菊池圭祐（國學院大學）

「曾根原先生のご業績とその継承——『旧事大成経』研究の今後を見据えて」

間枝遼太郎（北海道大学）

「天海・聖徳太子・大成経——曾根原先生の研究から」

総合司会： オリオン・クラウタウ（東北大学）

参加無料・要参加申込

オンライン・対面ともに。締切 3月6日（金）6:00 PM

参加申込フォーム
bit.ly/st574622



主催：科研費「憲法作者としての聖徳太子：その表象の思想史的研究」（24K03414）

共催：國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

東北大学大学院国際文化研究科

問い合わせ先

klautau@tohoku.ac.jp

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學



東北大学